

令和4年度  
学校評価アンケートのまとめ

## 生徒

### 《学校評価アンケートについての特徴》

・「SNS を適正に利用している」「ルールを守って行動している」など、規律順守に対する自己評価は高い。逆に家庭学習や読書等への取組みに対しては低い。

### 《自由意見》

- ・自由意見の中で目に付くのは、トイレの清掃不備や、和式トイレへの苦情。
- ・教職員の指導については、「ルールを守る指導などは学年等による差がないようにしてほしい」「先生方も挨拶をしてほしい」「電車遅延等に伴う学校の対応を素早くしてほしい」などの意見があった。また、「部活動の全員加入の見直しを検討してほしい」という意見も見られた。

## 保護者

### 《評価アンケートについての特徴》

・全体的に、各質問に対しての肯定的な評価の割合が昨年度より低くなっている。  
・評価が高いのは、「生活指導や規律指導に対する理解」「本校に通うことの意義」「学科、コース、科目選択についての満足度」など。逆に評価が低いのは、「PTA 活動の在り方」「PTA 活動への協力意識」「環境施設設備改善への取組みに対する評価」などであった。

### 《自由意見》

- ・冷暖房設備の適切な運用など、寒暖への適切な対応要望、トイレの不衛生対策および改善要望など施設設備に関連する意見が多く見受けられる。
- ・「学校に行く機会がないので、学校の様子がわからない」、「教職員とのコミュニケーションが取れない」などの意見は、コロナ感染予防による PTA 行事や保護者の集会の減少も影響していると思われる。
- ・進学指導や就職指導については、親身な指導に対する感謝の言葉が見られた。

## 教職員分析

### 《学校評価アンケートについての特徴》

・自己評価が高いのは「日常的な会話等を通じての生徒への目配り」「コロナ感染症予防への適切な対応」「生徒保護者への誠意を持った対応」などで、低いのは「教職員どうしの仕事の連携」「個に応じた特別支援の取組みおよび、それに対する組織的な対応」など。  
・ICT を活用した授業については、昨年度に比べて大幅に上昇した。  
・「PTA 活動のあり方は適切である」の評価は高く、保護者の意識との相違がみられる。

### 《自由意見》

- ・特に普通科において、地域の資源を積極的に活かした教育が必要でないか。そのためには、校外での活動に柔軟に対応することも必要ではないか。
- ・特に普通科においては、生徒が卒業するまでにどういった力を身に付けて欲しいのか、学力はどの程度を目指すのか等、話し合う場が欲しい。
- ・学校の行事等について、スクラップ&ビルドをしっかりと行い、ぶれない指導が必要ではないか。